
2 5 2 5 . 搭載便割当情報登録

業務コード	業務名
F L I	搭載便割当情報登録呼出し
F L I 0 1	搭載便割当情報登録

1. 業務概要

入力されたAWB及びULD単位に搭載便情報の登録を行う。

(1) 「搭載便割当情報登録呼出し (FLI)」業務の場合

入力されたAWB番号またはULD番号から、該当する輸出貨物情報またはULD情報を取得し、個数、重量及び仕向地等の情報を呼び出す。

(2) 「搭載便割当情報登録 (FLIO1)」業務の場合

入力されたAWB及びULD単位に搭載便情報の登録を行う。

なお、本業務で新規作成された輸出貨物情報の総個数及び品名等は、「輸出貨物情報登録 (CDB)」業務、「AWB情報登録 (輸出) (ABS)」業務または、「個別搬入確認登録 (BII)」業務 (以下、CDB業務等という) が実施された場合、変更されるので留意する。

2. 入力者

航空会社

3. 制限事項

- ① 1業務で処理可能なAWB件数及びULD件数は最大20件とする。
- ② 1搭載便に割当て可能なAWB件数は最大500件とする。
- ③ 1搭載便に割当て可能なULD件数は最大99件とする。
- ④ 1搭載便に対して、1AWBで登録可能な取卸地は最大2件とする。
- ⑤ 1AWBに対して、割当て可能な便名 (同一便名で複数の取卸地が登録されている場合は、複数便として扱う。) は最大30便とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ① システムに登録されている利用者であること。
- ② 入力された割当て便名の示す航空会社と同一であること。
また、入力者が受託者の場合は、受委託関係がシステムに登録されていること。
- ③ 入力者に対する積込港が登録されていること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) フライトDBチェック

入力された割当て便名に対して以下のチェックを行う。

- ① 入力された割当て便名に対する日別または基本フライト情報が存在すること。
- ② 入力された取卸地が登録されていること。
- ③ 欠航便の旨が登録されていないこと。

(4) 輸便情報DBチェック

入力された割当て便名に係る輸便情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ① 入力された取卸地が登録されていること。
- ② 搭載終了の旨が登録されていないこと。

(5) ULD情報DBチェック

入力されたULD番号に対して以下のチェックを行う。

- (A) 入力されたULD番号に係るULD情報DBが存在すること。

(B) 便名及び取卸地が登録されていないか、または入力された便名及び取卸地が登録されていること。

(C) 以下の条件のいずれかを満たすこと。

①入力者とULD情報DBに登録されている航空会社が同一であること。

ただし、入力者が受託者の場合、自社が受託している航空会社と同一であること。

また、ULDが他社引渡しされている場合は、ULD情報の航空会社と引渡先航空会社が同一であること。

②自社の航空会社保税蔵置場に蔵置されていること。

(6) 輸出貨物情報DBチェック

(A) AWB番号が入力された場合

入力されたAWB番号に係る輸出貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

①AWBまたはMAWBであること。

②手作業移行済でないこと。

③入力された割当て便名に対して搭載完了登録されていないこと。

④便未割当てバラ個数^{*1}が存在すること。

(* 1) 便未割当てバラ個数とは、搭載便が割り当てられていない輸出貨物情報のうち、「積付結果登録 (MAWB単位) (ULM)」業務等が行われていない個数をいう。

便未割当てバラ個数＝総個数－便割当て個数^{*2}－便未割当てULD積付個数

(* 2) 便割当て個数とは、当該輸出貨物情報のすべての便割当て個数をいう。

なお、便未割当てバラ重量とは、搭載便が割り当てられていない輸出貨物情報のうちULM業務等が行われていない重量をいう。

便未割当てバラ重量＝総重量－便割当て重量^{*3}－便未割当てULD積付重量

(* 3) 便割当て重量とは、当該貨物情報のすべての便割当て重量をいう。

⑤入力された割当て便名及び取卸地に対応するフライトスケジュール情報に搭載不可 (社用品のみ可) の旨が登録されている場合は、その貨物は社用品であること。

⑥入力された便名及び取卸地で搭載完了登録されていないこと。

⑦「貨物情報切替登録 (CHG)」業務で作成された貨物の場合は、「一括搬入確認登録 (B I L O 1)」業務で搬入済みとなっていること。

(B) ULD番号が入力された場合

当該ULDに積み付けられているAWBに対して以下のチェックを行う。

①すでに他の搭載便が割り当てられていないこと。

②入力された割当て便名及び取卸地で割当て済でないこと。

③入力された割当て便名に対して搭載完了登録されていないこと。

④入力された割当て便名及び取卸地に対応するフライトスケジュール情報に搭載不可 (社用品のみ可) の旨が登録されている場合は、その貨物は社用品であること。

5. 処理内容

(1) F L I 業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(C) 注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) F L I O 1 業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コード「000000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を内部処理で行う。(詳細については後述の特記事項を参照。)

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 輸出便情報DB処理

(a) 入力された割当て便名に係る輸出便情報が存在しない場合

①入力された割当て便名に対するフライトスケジュール情報から経由地等を得て、輸出便情報DBを新規作成する。

②入力されたAWB番号及びULD番号を登録する。

(b) 入力された割当て便名に係る輸出便情報が存在する場合

入力されたAWB番号及びULD番号を登録する。

(C) ULD情報DB処理

入力された割当て便名及び取卸地を登録する。

(D) 輸出貨物情報DB処理

(a) 入力されたAWB番号に係る輸出貨物情報が存在しない場合

①入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報を新規作成する。

②入力された割当て便名及び取卸地を登録する。

③貨物識別に「S」(スプリット表示)が入力されていない場合は全量便割当て済の旨を登録する。

(b) 入力されたAWB番号に係る輸出貨物情報が存在する場合

入力された割当て便名及び取卸地を登録する。

(E) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(F) 注意喚起メッセージ出力処理

内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

(1) F L I 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
搭載便割当情報登録呼 出し結果情報	なし	入力者

(2) F L I O 1 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
エラー通知情報 (搭載便割当)	内部エラーが発生した場合	入力者

7. 特記事項

- (1) 本業務は、入力条件のチェックを実施し、処理結果コード「00000-0000-0000」を出力の後、内部処理を行う。内部処理では、AWB及びULD 1件毎にDBチェック及びDB処理等を行う。処理終了後、内部処理でこれらのチェックに合致しなかったAWB番号及びULD番号についてその都度、エラー通知情報（搭載便割当）を蓄積情報として出力する。
- (2) 本業務に入力される項目（品名、仕向地、積込港、総個数、総重量）については、別紙L02「共通項目（航空輸出貨物情報）の登録優先順位」に従って輸出貨物情報DBに登録または更新する。